

◆ 会員一覧

<p>団体会員 (順不同) 亀山市 亀山市議会 亀山商工会議所 亀山市自治会連合会 亀山市地域まちづくり協議会連絡会議 亀山市婦人会連絡協議会 亀山ライオンズクラブ 亀山ロータリークラブ (一社) 亀山青年会議所 亀山青年会議所シニアクラブ 鈴鹿農業協同組合 亀山地区 三重茶農業協同組合 (一社) 亀山市観光協会 亀山地区労働者福祉協議会 亀山地区労センター (一社) 三重県建設業協会 亀山支部 三重県建設労働組合 亀山支部 鈴鹿森林組合 亀山市教育委員会 亀山市農業委員会</p>	<p>企業会員 (五十音順) アパホテル<三重亀山> あんしん介護 (株) (株) 安全 (株) エイチワン 亀山工場 NTNアドバンスマテリアルズ (株) (株) エフテック 亀山事業所 カメヤマ (株) 亀山瓦斯 (有) 亀山急送 (株) (株) 亀山ショッピングセンター 亀山製絲 (株) 北伊勢上野信用金庫 亀山支店 協同油脂 (株) 亀山事業所 高圧昭和ポンベ (株) (有) 小菅金物 さくらさくら不動産 (株) (株) 三十三銀行 亀山支店 (株) 三扇 (株) ジェイテクト 亀山工場 島内建設 (株) シャープディスプレイテクノロジー (株) 昭和パックス (株) 亀山工場 白川建設 (株) (有) シラカワ 鈴鹿インター (株) (株) スチールセンター 亀山事業所 (株) セキデン</p>	<p>(株) 大紀アルミニウム工業所 亀山工場 田島シルク (株) 中部電力パワーグリッド (株) 鈴鹿営業所 東海労働金庫 亀山支店 東洋電装 (株) 亀山工場 (株) 栃木屋 (株) 豊田自動織機 (株) 長田建材店 (有) ニシムラ 日東電工 (株) 亀山事業所 パナック (株) 亀山工場 (有) ハーモニー原田 (株) 百五銀行 亀山支店 (株) プラザチェーン 古河電気工業 (株) 三重事業所 堀田建設 (株) (株) ホンダオート 三重亀山店 (株) ミヤガク中京(カメヤマドライバースクール) (株) 宮長 (有) むかい (株) 村山ガス (有) 保田ガラス店 柳河精機 (株) 亀山工場 山川運輸 (株) (株) ヤマシタ 三重事業所 (株) 米津グリーンメンテ リケンテクノス (株) 三重工場</p>
--	---	---

(54 社)

リニア中央新幹線・JR 複線電化推進亀山市民会議とは

当市民会議は、昭和 42 年 5 月に、国鉄複線電化の推進を目的に、亀山市長を会長とした市民各会代表による「国鉄複線電化推進亀山市民会議」として発足しました。平成 4 年にはリニア中央新幹線の早期実現と市内停車駅誘致を活動目標に追加し、平成 13 年から平成 18 年までは市民対象のリニア試乗会を開催するなど様々な取り組みを展開してきました。

今後も「LINEAR TO KAMEYAMA ~新たなステージ、夢から現実へ!!」・「もっと乗って！もっと便利に！」を合言葉にリニア中央新幹線の市内停車駅誘致、亀山市を中心とした複線電化や利便性向上を目指し、関係機関と連携した強力な推進活動を展開していきます。

なお、当市民会議は、会員各位からの会費と市補助金により運営しており、こうした活動にご賛同いただける会員を募集しています。

詳細は、下記事務局までお問い合わせください。

(事務局：亀山市政策部政策推進課内 0595-84-5066)

年 表

昭和 42 年	「国鉄複線電化推進亀山市民会議」として発足
昭和 62 年	国鉄の民営化に伴い、「JR 複線電化推進亀山市民会議」に名称を変更
平成 4 年	複線電化推進活動にリニア誘致を位置づけ
平成 6 年	「リニア中央エクスプレス・JR 複線電化推進亀山市民会議」に名称を変更
平成 13 年	市民対象のリニア試乗会を開始(～平成 18 年)
平成 21 年	「リニア中央新幹線・JR 複線電化推進亀山市民会議」に名称を変更

発行者：リニア中央新幹線・JR 複線電化推進亀山市民会議

編 集：リニア中央新幹線・JR 複線電化推進亀山市民会議事務局 (亀山市政策部政策推進課内) 〒 519-0195 三重県亀山市本丸町 577 番地

T E L : 0595-84-5066 E-mail : kotsu@city.kameyama.mie.jp



関西本線(亀山・名古屋間) 新型車両の315系

国土交通省鉄道局への要望活動

関西本線(亀山・加茂間) キハ120形気動車

会長のあいさつ



リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議 会長

亀山市長 櫻井義之

陽春の候、皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、リニア中央新幹線の整備につきましては、先行開業を目指す東京・名古屋間において、困難な諸課題に直面しながらもターミナル駅となる品川駅・名古屋駅の工事をはじめ、長野県飯田市・岐阜県中津川市でも中間駅整備工事に着手されるなど、沿線各地で鋭意建設工事が進められております。また、名古屋・大阪間の整備においては、事業主体である JR 東海によりまして、昨年 12 月よりリニア中央新幹線の概略ルート及び概略駅位置の絞り込みに必要なボーリング調査が三重県と奈良県で開始され、環境影響評価に着手されました。

このように、リニア中央新幹線の整備は、国家的プロジェクトとして、着実に、そして、力強く前進するとともに、本市としても新たな局面を迎え、昭和・平成・令和と時を超えた取り組みが新たなステージへと進んでおります。

一方、在来線におきましては、令和 4 年度に亀山駅周辺の道路整備や駅前広場、駐輪場などが整備され、亀山駅前が本市の玄関口として快適な都市空間に生まれ変わるとともに、学びとまちづくりの核となる図書館が開館後 1 年を迎え、市内外を問わず約 28 万人の方々来訪され、亀山駅前の賑わいを創出しています。また、関西本線(亀山・名古屋間)では、昨年 6 月より一部時間帯に新型車両が投入されるなど、利便性の向上が図られたところであり、これを契機に、鉄道をご利用いただき、在来線のさらなる利便性向上につなげてまいりましょう。

当市民会議といたしましても、引き続き、リニア中央新幹線的全線早期開業とリニア市内停車駅の実現、そして、発足当初からの目標である関西本線、紀勢本線の利便性向上に向けて、関係機関と協力しながら、幅広い活動を精力的に展開してまいりますので、今後とも、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

リニア中央新幹線の 全線開業に向けて ～名古屋以西の環境影響評価に着手！～

リニア中央新幹線の整備状況と市内停車駅誘致の状況について

リニア中央新幹線の整備状況については、事業主体である JR 東海により、先行区間となる品川・名古屋間の沿線各地で鋭意工事が進められています。中でも地上の中間駅となる岐阜県中津川市では、2022年6月に中間駅整備工事に着手され、同年12月には長野県飯田市でも中間駅整備工事に着手されました。また、昨年10月には、山梨県と長野県の間となる掘削延長約710mの第一南巨摩トンネル（山梨県）が、リニアが走行する本坑トンネル工事として初めて貫通されるなど、沿線各地で工事が本格化しています。



岐阜県中津川市における工事風景 (R5.9 時点)

一方、名古屋・大阪間の整備については、国の「経済財政運営と改革の基本方針 2023」において、リニア中央新幹線等は、三大都市圏を結ぶ「日本中央回廊」を形成し、地方活性化や国際競争力強化を推進するものであり、全線開業の前倒しを図るため、建設主体が本年から名古屋・大阪間の環境影響評価※1に着手できるよう、沿線自治体と連携して、必要な指導・支援を行うと明記されました。



県同盟会要望風景

また、リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会においては、本市内候補地への駅設置等を求めて、令和5年10月、県期成同盟会の会長である一見知事をはじめとする役員により、JR東海の丹羽社長へと要望活動を展開するなど、名古屋以西の早期着手に向けた取り組みが展開されました。

こうした取り組みにより、令和5年12月には、事業主体である JR 東海において、概略ルートの絞り込みや概略駅位置の選定に必要なボーリング調査（地盤調査）が三重県と奈良県で開始され、環境影響評価に着手されました。

本評価は、リニア中央新幹線の整備実施に当たって、環境保全に十分配慮した計画を進め、できる限り環境影響の回避または低減することを目的に実施されるものであり、今後、計画段階環境配慮書にて概略ルート及び概略駅位置が示されていくこととなります。

このようにリニア中央新幹線の整備は、国土構造に大きな変化をもたらす国家的見地に立ったプロジェクトとして着実に前進するとともに、本市民会議においては、四半世紀にわたり積み重ねてきた活動を継続して展開しつつ、令和5年度から進めるジオラマ制作などの機運醸成への取り組みも含めた、リニア中央新幹線の全線早期開業と市内停車駅設置に向けて積極的な活動を展開してまいります。

※1 環境影響評価とは？（環境省ホームページ環境影響評価情報支援ネットワークより抜粋）
環境影響評価（環境アセスメント）とは、開発事業の内容を決めるに当たって、それが環境にどのような影響を及ぼすかについて、あらかじめ事業者自らが調査、予測、評価を行い、その結果を公表して一般の方々、地方公共団体などから意見を聴き、それらを踏まえて環境の保全の観点からよりよい事業計画を作り上げていこうという制度。

令和5年度のリニア中央新幹線・JR 複線電化推進亀山市民会議活動

リニア中央新幹線・JR 複線電化推進亀山市民会議では、「LINEAR TO KAMEYAMA 新たなステージ、夢から現実へ！！」、「もっと乗って！もっと便利に！」を合言葉に、リニア中央新幹線の市内停車駅誘致活動や在来線の利便性向上などの推進活動を展開しました。

総会・講演会

令和5年7月26日（水）亀山市文化会館中央コミュニティセンターにおいて、関係者約70名出席のもと、令和5年度リニア中央新幹線・JR 複線電化推進亀山市民会議総会が開催されました。総会では、昨年度の事業報告や令和5年度のリニア駅誘致積立金の活用事業（ジオラマ制作）等の事業計画が承認されました。



総会

総会終了後は、山梨大学・早稲田大学・東京農業大学の共同による、リニア駅周辺への農林系省庁誘致、果樹野菜の生産性向上などを重点施策として取り組む「山梨フードバレー構想」を研究されておられる山梨大学大学院総合研究部土木環境工学科の武藤慎一教授を講師としてお招きし、「リニア中央新幹線の地域にもたらす経済効果とアクセス交通の重要性」と題し、リニア中央新幹線開通による移動時間の劇的な短縮による地域経済への波及効果やその効果を十分に波及させるための中間駅までのアクセス交通整備の重要性等についてご講演をいただきました。



講演会

次世代を担う子どもたちを対象とした取組

令和5年8月11日（金）に「リニア鉄道親子学習会」を開催し、抽選で選ばれた17組44名の市民の方々とともに名古屋市にある「リニア鉄道館」、「電気の科学館」を訪れ、時間いっぱいまでリニアや鉄道の歴史のほか、電気の仕組みなどについて、親子で楽しく学んでいただきました。また、令和5年11月25日（土）に開催された「青少年のための科学の祭典」へのブース出展に加え、イオンモール京都桂川や2023 亀山市勤労者ファミリーフェスタにおいて、子どもを対象とした様々なワークショップを展開し、リニア中央新幹線の PR や在来線の利用促進 PR 活動を展開しました。



リニア・鉄道親子学習会



青少年のための科学の祭典



イオンモール京都桂川

中央要望活動

令和6年2月2日（金）、リニア中央新幹線の早期全線開業や市内停車駅の早期設置決定、複線電化や駅機能充実による利便性向上などを求め、国や関係機関に対して要望活動を実施しました。



地元選出国會議員への要望活動風景

《要望内容》

- リニア中央新幹線
 - ・三重・奈良ルートによる全線早期開業
 - ・三重県期成同盟会にて決議された候補地への停車駅決定
- 在来線
 - ・亀山駅を中心とした複線電化の早期着手
 - ・IC乗車券サービスの利用拡大や駅機能の充実による利便性の向上 など

PR 活動

PR カレンダー配布や会報の発行、PR グッズの作成等により、リニア中央新幹線の早期実現と市内停車駅誘致の機運醸成、在来線の利用促進 PR 活動に取り組みました。また、市内を運行する関西本線（亀山・加茂間）の利用促進を図るため、京都府のイオンモール京都桂川にて開催されたイベントや市内で開催された各種イベントにおいて、リニア中央新幹線の早期実現と市内停車駅誘致の機運醸成に加え、在来線の利用促進 PR 活動に取り組みました。



イオンモール京都桂川



ファミリーフェスタ



PR カレンダーデザイン

リニアが走るジオラマ制作がスタート!!

昨年7月に開催された令和5年度リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議の総会において、「リニア駅誘致運動」に対して頂戴したご寄附の活用について、一層の機運醸成を図るためのジオラマ制作を行うことが承認されました。

ジオラマは、実際に浮上して走行するNゲージリニア（鉄道模型）を用い、リニア駅のある未来の亀山のまちを想像したものが制作される予定で、大きさは、2m×1.5mとなります。

現在、ジオラマ制作に向けて、子どもたちを対象としたジオラマの樹木や人物づくりワークショップを開催しており、その第1回目となるワークショップを、本年1月の亀山市立図書館開館1周年記念イベントにて開催しました。開催当日は、実際に浮上して走行するNゲージリニアを眺めながら、親子や兄弟・姉妹で夢中になって体験をいただきました。本ワークショップでは、みんなが作った樹木や人物が今後制作されるジオラマの中に配置されるため、「どこにあるのか探すのが楽しみ」、「ジオラマを作った1人だ」などの感想をいただいています。

今後もワークショップを随時開催しつつ、ジオラマ制作を進め、本年7月頃には完成する予定となっています。

完成後は、様々な場所やイベントで展示されるほか、ワークショップ風景や制作風景等の画像を活用しながら広くPRを行い、一層の「リニア駅誘致」への機運醸成を図っていきます。



第1回ワークショップ風景



ジオラマイメージ



在来線～「もっと乗って!もっと便利に!」～

関西本線（亀山-名古屋間）の一部時間帯に新型車両が投入!!

令和5年6月から関西本線（亀山-名古屋間）の一部時間帯に新型車両が投入されました。車体は、「先進性×親近感」をコンセプトにステンレス製車体の輝きが眩しく、窓が少し緑色になっていますが、赤外線や紫外線を99%カットするガラスがJR東海で初めて採用されています。

内装は、「優しく安心感のある快適な移動空間」をコンセプトとされており、車椅子対応トイレや車椅子・ベビーカースペースなどのバリアフリー設備の充実をはじめ、車内防犯カメラの新設、開放感あるインテリアなど、快適性や安全性の向上が行われています。特に在来線通勤型電車として特徴的なものとして、ロングシートが採用され4両編成となっています。

その他にも車内案内表示が液晶ディスプレイになるなど、利便性が向上した関西本線で通勤・通学・お買い物などのご利用のほか、小さなお子様と鉄道デビューしてみてもは?



「リニア中央新幹線建設促進期成同盟会」・「リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会」のホームページでは、リニア中央新幹線の広報動画やキッズ向けのサイトを開設しています。ぜひご覧ください。

また、三重県とリニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会が運営する「みえリニアポータルサイト」では、「みえリニア応援クラブ」の会員を募集しています。入会金・年会費は無料で、会員特典として、リニアオリジナル啓発グッズ（非売品）がプレゼントされます。



◀リニア中央新幹線建設促進期成同盟会



◀みえリニアポータルサイト



山梨リニア実験線

ここから世界最高記録が生まれた。

山梨リニア実験線の全長は42.8km。複線・カーブ・坂道・トンネルなどの営業線と同等の条件を持っており、日々走行試験を行い、超電導リニアの技術開発を行っています。ここから「有人走行・最高速度時速603km」などの世界最高記録が誕生しました。



山梨県立リニア見学センター

リニアの実物車両を見てみよう。

センターでは、模型や展示物によって超電導リニアやリニア中央新幹線について紹介。また山梨リニア実験線での走行試験の様子を見学できます。「どきどきリニア館」では、鉄道の世界最高速度(2003年(平成15年)当時)を記録した試験車両の実物をシンボル展示しています。



山梨県立リニア見学センター 〒402-0006 山梨県都留市小形山2381 ☎0554-45-8121

※リニアの走行試験が行われない日がありますので、試験の日程は、リニア見学センターのホームページにてご確認ください。

©Forward Stroke Inc.

超電導リニア体験乗車が再開!

JR東海では、山梨リニア実験線にて超電導リニアの走行試験が実施されていますが、走行試験スケジュールを調整し、L0系改良型試験車による「超電導リニア体験乗車」が2024年も随時開催されています。従来のL0系から内装や座席が改良され、快適な座り心地となったL0系改良型試験車を体験されてみては?

●詳しくはJR東海HPをご覧ください。

